

エネルギー資源と日本外交



化石燃料政策の変容を通して 1945年～2021年

池上萬奈著 A5判上製本232頁 本体2,800円 ISBN978-4-8295-0829-9

資源に乏しい日本はどのようにエネルギー資源を確保してきたのか
1973年の第一次石油危機（オイルショック）を機に
積極的に展開した資源外交を概観する

石油を主とした化石燃料を巡る日本の外交政策を、
「対米協調」「国際協調バランス」の視角から分析し、
今後のエネルギー資源政策における日本外交の課題を考察する

第一章 戦後日本の石油政策

- 1 国際石油資本依存の体制
- 2 国際石油資本軽減の試み
- 3 アラブ諸国の石油戦略

第二章 第一次石油危機（オイルショック）

- 1 アラブ諸国の石油戦略発動
- 2 アラブ諸国の石油戦略強化
- 3 新中東政策発表へ—危機解消に向けて

第三章 資源保有国との二国間外交推進

- 1 三木武夫特使の中東八カ国訪問
(友好関係の構築を目指して)
- 2 中曽根康弘通産相のイラン・イラク訪問
(政府間取引の成立を目指して)
- 3 小坂善太郎特使の中近東八カ国訪問
(友好関係の強化を目指して)

第四章 多国間協調外交の推進

- 1 石油安定供給のためのワシントン石油消費国会議
- 2 具体的作業のためのエネルギー調整グループ会合
- 3 多国間協調のなかの日米協力
(日米エネルギー研究開発協力)

第五章 化石燃料抑制の資源政策

- 1 温室効果ガス制限目標を課した京都議定書
- 2 すべての国の参加を求めたパリ協定

石油備蓄放出

OPEC原油減産

石油危機

気候温暖化

オイルショック

温室効果ガス排出削減

化石燃料政策

原油価格高騰

池上萬奈(いけがみ まな)

1974年慶應義塾大学文学部史学科卒業、2008年同大学大学院法学研究科前期博士課程、2013年後期博士課程修了、博士(法学)。その後、慶應義塾大学大学院法学研究科助教(有期・研究奨励)、同大学法学部非常勤講師を経て、現在、立正大学法学部非常勤講師。

主な業績：「第一次石油危機における日本の外交—石油政策と日米関係—」『法学政治学論究』第79号、「対越経済援助における日本外交—経済援助再開の試みと日米関係—」『法学政治学論究』第85号、「日本の新中東政策形成過程の考察—第一次石油危機とキッシンジャー構想を中心に—」『法学政治学論究』第87号、「第一次石油危機における日本外交」『国際政治』第177号、「エネルギー資源と日本外交—化石燃料政策の変容を通して—」『法学研究』第94巻第2号等。



三木武夫特使



小坂善太郎特使



中曽根康弘特使

2月下旬 新刊搬入予定です

配本部数申込締切は 2月4日(金) です

FAX 03-3813-4615

芙蓉書房出版

〒113-0033
東京都文京区本郷3-3-13
http://www.fuyoshobo.co.jp
TEL. 03-3813-4466
FAX. 03-3813-4615

発行 芙蓉書房出版	注文数	注文者
エネルギー資源と日本外交		
2月新刊 本体 2,800円	部	